

平成 22 年 4 月 21 日現在

研究種目：基盤研究（C）
研究期間：2007～2010
課題番号：19530804
研究課題名（和文）アクション・リサーチによる教科学習のための教員研修プログラムの開発
研究課題名（英文）Development of teacher education programs concerning class of subject
by action research

研究代表者 山田 綾（YAMADA AYA）
愛知教育大学・教育学部・教授
研究者番号：50174701

研究代表者の専門分野：教育学

科研費の分科・細目：教育学・教科教育

キーワード：アクション・リサーチ、教員研修、研究的教育実習

1. 研究計画の概要

本研究は、北欧（スウェーデン）で試みられている（クリティカル・）アクション・リサーチを検討し、日本の小学校教師と共同でクラスや教科の現状に合う方法を考案し、実施し、教員研修のプログラムを開発することを目的とするものである。教育実習と現職教員の研修プログラムにアクション・リサーチを入れるために、試験的にアクション・リサーチを実施し、検討する。

2. 研究の進捗状況

1年目に北欧のアクション・リサーチ・プロジェクトや教員研修プログラム、教員養成課程の教育実習の指導プログラムを収集し、検討した。2～3年目に、スウェーデン・ウメオ大学の博士課程で試みられていたクリティカル・アクション・リサーチをモデルに大学院の研究的教育実習をアクション・リサーチで試みた。小学校の教師と実習生と研究者が共同で、アクション・リサーチを実施し、教科と教科外におけるアプローチを考案・実施・評価を行った。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

（理由）

2～3年目に大学院の研究的教育実習としてのアクション・リサーチを実施することができ、現在、実施記録と意義・課題をまとめているところである。目的から言うと、おおむね順調に進んでいるといえる。

4. 今後の研究の推進方策

今年度は、異なる体制でアクション・リサーチを実施し、さらに検討を進めたい。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計1件）

山田綾、田中佐季、渡邊美佳「アクション・リサーチによる学びと関係性再構築の試み - トマト学習プロジェクト（小3）の取り組みを中心に（1） - 」愛知教育抱く学教育実践総合センター紀要代12号、2009.2、pp.107～116。

〔図書〕（計0件）

〔産業財産権〕

出願状況（計0件）

〔その他〕